

山形森林管理署 もがみ支署通信

「最上小国川流水型ダム」が竣工しました



吉村知事あいさつ

最上小国川に流水型ダムが建設され、8月3日（月）に同ダム竣工式実行委員会（会長：最上町長）により現地にて竣工式が行われました。流水型ダムとは洪水調節機能に特化したダムで、水量が増加した時だけ一時的に水を貯めて下流の増水を押さえるものです。

竣工式には吉村美栄子山形県知事をはじめ多数の来賓が参列し、祝辞の後、記念植樹・堤名碑除幕・テープカットが行われました。

場所を移しての竣工祝賀会では「ダムカレー」に舌鼓を打ちました。当支署としましても、将来にわたり地域に安全と安心をお届けする

ダムの竣工をお祝いするとともに、ダム上流部を含む国有林の森林整備をより一層推進し、公益的機能（国土の保全や水資源の涵養など）の発揮に向け取り組みます。

農林大学校、クマの皮剥ぎを調査中です

山形県立農林大学校では、ここ数年来鮭川村内の国有林においてクマの皮剥ぎを調査しており、8月27日には最上広域森林組合のご協力のもと、被害を受けたスギ立木を伐採し材質に及ぼす影響を調査しました。

根元に近い、樹皮が剥がれた部分はもちろん、剥がれた箇所より数m離れた部分の丸太にも影響が及んでいました。

当支署の担当者より、材質・材価の低下についての情報提供も行いました。



1番玉(左端)2番玉(右写真)を調査、変色し材質が低下

今後の調査の継続と、被害防止対策等に期待しております。

労働災害防止意見交換会を開催しました

事業最盛期中の8月24日、真室川町中央公民館にて新庄労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会、最上総合支庁森林整備課と共催、51名の参加を得て開催しました。

9:30の開会の後、生産・造林の現地にそれぞれ移動。生産は同町大滝地区の保育間伐箇所において、伐倒・造材・集運材作業を点検、造林は新庄市泉田において、炎天下のもと実施されていた地拵（植付前の準備事業）作業を点検しました。

午後は中央公民館に戻り、新庄労働基準監督署の安全指導の後、安全点検結果の報告、質疑応答、各事業体からは無線機の活用・空調服・ヒヤリハットなどへの取り組み事例を紹介。

共催者からは、生産・造林とも多岐にわたる項目について、詳細な講評を戴きました。

秋期の事業に向け、各林業事業体とも労働災害防止の認識を新たに、意見交換会を終了しました。



開会式の様子、支署長あいさつ



生産現場、チェーンソー伐倒



造林現場付近、地拵の概況説明



午後、巡回安全点検報告



クヌギ

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林